

【粉瘤とは？】

皮膚の下に皮脂や角質が水風船のように溜まったもの。良性腫瘍です。表皮嚢腫やアテロームとも言います。

【粉瘤を放置すると？】

少しずつ大きくなり、場所によっては痛みを伴うこともあります。バイ菌が入ると炎症を起こして周りが赤く腫れあがり、痛みが増します。悪臭のある内容物(角質,皮脂,膿)が漏れ出すこともあります。できれば早い段階での治療が望ましいです。

【粉瘤の治療法は？】

- ・ 抗生剤の内服,軟膏：炎症がある場合で一時的に改善することもあります。再発のリスクがあります。
- ・ くり抜き法：小さく炎症が少ない時に行います。局所麻酔で小さな孔を開け内容物を出します。
→小さな傷ですみませんが遺残することもあるため、症例によっては勧められない場合もあります。
- ・ 摘出術：炎症が軽微で化膿していない時に行います。局所麻酔で舟型に皮膚を切り内容物を袋と共に摘出します。
摘出後は縫合閉鎖をします。
→手術翌日に傷口の状態を確認し問題がなければ1週間後に抜糸です。
- ・ 切開排膿術：炎症が高度で化膿している状態の時に行います。局所麻酔後、皮膚切開をし内容物と共に膿汁を出します。
内部に遺残が無いように洗浄します。皮膚切開創は縫合せず解放したままです。
→術後数日間通院していただき、創部洗浄を行います。膿汁が出なくなった状態を確認し通院終了です。
縫合閉鎖はせず、自然に塞がるのを待ちます。

Sase Medical Home